

すま しょうがいしゃ ちいきせいかつ しえんせんたー つうしん  
すま障害者地域生活支援センター通信 第9号

# まちのそら

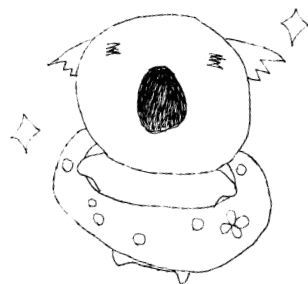
発行:平成19年7月1日

〒654-0023 神戸市須磨区戒町3-5-1

E-mail : [shien-center@suma-shakyo.or.jp](mailto:shien-center@suma-shakyo.or.jp)

☎078-735-3833/FAX078-735-3834

URL : <http://suma-net.org/>



- 巻頭所感『与えられたものを最大限に生かす』…1
- まゆみのキャンパス・ライフ Part5……………2
- 作業所探訪 vol.6「ライフスペース・プロペラ」…3
- 7月のまちかど情報《講座・ギャラリー》…………4

\*イラスト\* 松本絵里奈



## “与えられたものを最大限に生かす”

すま障害者地域生活支援センター  
所 長 瀬 戸 昭

ある本でイチローの記事を読みました。彼が最多安打記録を達成した時に、「世界の野球少年にひと言」と言われて、こう答えていました。「ぼくは大リーグで身体が小さいほうだ。でも、これだけのことができた。それは自分に**与えられたものを最大限に活かす**ことをめざしたからだ。そうすれば、可能性はどこまでも広がる。」



重症児者の通所施設「<sup>とも</sup>朋」の施設長の<sup>ひうらみちえ</sup>日浦美智江さんは講演の中でこう語られました。「ストレッチャーの車いすに乗ったFさん、小学校との交流会でマイクで挨拶。ただアーという声の挨拶。後に小学校の先生から手紙が来た。『マイクでいっしょうけんめい挨拶してくれる。交流してもらっているのはわたしたちだったんですね。「**いっしょうけんめい生きること**」「**可能性を生かすこと**」がどんなにたいせつなことか。これから子どもたちを「<sup>とも</sup>朋」に行かせます。教えてやってください。』Fさんに会いたいと小学生がやってくる。皆、緊張してコチコチ。Fさんと握手して、「ぼくがんばります。ぜんそくだけどがんばります。」**言葉が話せない、手足がうごかなくてもすごい先輩**がいるんだ。舞台があれば、言葉のない人、手足の動かない人もこれだけの役割、働きができるんだ。」と話されました。

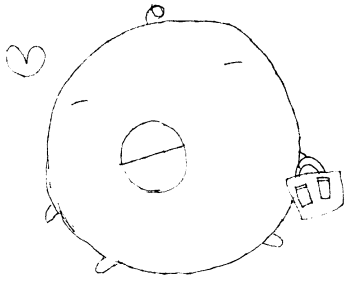


今、障害者自立支援法のもとで各区ごとに自立支援協議会が作られようとしています。自立支援協議会の目的は「障害者が地域において、自立した暮らしができるような仕組みを作ること」と言われています。

一人ひとりに与えられた可能性を最大限に生かすことができるような舞台と条件を、地域の中で作り上げて生きたいと願うものです。

まゆみの

## キャンパスライフ ~Part 5

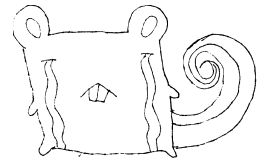


●こんにちは！松本まゆみです●

みなさん暑い夏がやってきましたが夏バテはされていますか？  
ちなみに、私は少し暑さにバテています（笑）  
もうすぐ大学も夏休み。でも、その前に苦しいテストが待ち構えています。

●新しいこと、はじめました●

以前、この通信でもお話したことのある放送部を辞めることにしました。  
理由は、私がこれからやりたいこととの両立が出来そうになかったからです。



新たに、友達との出会いがきっかけで、最近私が始めたことがあります。

「なかなか障害あったら、バイトとかできんよなあ」と聴覚障害のある友達と話していたところから始まります。そこから「じゃあそういう団体作ったらいいんちゃう？」ということになり、私たちは『**障害のある学生さんのアルバイトやインターンシップのお手伝いをする団体**』を作ることにしました。もちろん、自分たちもアルバイトをするのが目標なので、お手伝いだけではないのですが…。団体の名前を『**ユニバー関西**』に決め、関西を中心とした障害を持つ学生さんを対象にして活動していこうと、日々走り回っている状況です。まだ、スタッフが7人ですが、楽しんで一から団体を作っていこうと張り切っています。『ユニバー関西』のホームページができました。もし興味のある方はどうぞご覧になってください。

\* **ユニバー関西ホームページ** <http://index.boj.jp/univerkansai/index.html> \*

●この夏は忙しくなりそうです●

大学回りや企業回りをたくさんしていくつもりです。

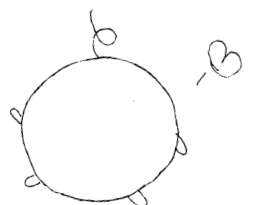
そして、一人でも多くの学生さんがアルバイトやインターンシップを経験して、就職への道を一緒に歩んでいけたら最高だなと感じています…。と偉そうに言えるわけもなく、今はがむしゃらに突き進んでいます。「部活を辞める」と部員の皆に言うのはすごくつらかったですが、私が『ユニバー関西』をするのをみんな応援してくれました。だから頑張ります。

私自身、アルバイトしたいと思って面接に行って、何回はねられてきたことか…。だからこそ気持ち分かるし、企業と障害を持つ学生さんを繋ぐパイプ役をしながら、たくさんたくさん学んでいこうって思っています。

そしてこの夏、遂に日本を飛び出します！韓国へ行ってきます！！これも色々なドラマがありそうですが、ここでは書ききれないので…。『TRY』というイベントに参加するという事だけ。そんな夏の計画の前に、まずは学生の本業をやります。テストにレポート、2週間はしかで大学が休講になった分、課題が増えました。なんでー。

～編集担当Tより～

まゆみさんは、障害なんてなんのその！色々なことに挑戦してて(しすぎてて?!)  
びっくりします。車椅子で颯爽と走る姿が印象的です。  
先月、「まちかど講座」で講師をしていただき、ご自身のこれまでの体験や  
これからのことをお話くださいました。これからの活躍が楽しみです。



## 小規模作業所探訪 vol.6

# ライフスペース・プロペラ

6回目は、「ライフスペース・プロペラ」をご紹介します。

板宿駅から歩いて5分。バス道から1本通りを入った住宅街に「ライフスペース・プロペラ」があります。賑やかで、便利な立地。すまの支援センターからもすぐです。

### 歩み

プロペラのスタートは、平成11年3月。喫茶店と作業場のある3階建ての建物で、メンバー5～6名ではじめました。「広げよう人の輪を！まわそう心のプロペラを！」をスローガンに、一人ひとりの個性を大事にし、誰もが居心地の良い作業所を目指して活動をしてきました。1度引越しをされ、現在の場所で活動し始めて6年が経ちました。

### こんなことをしています

現在、通われているメンバーは女性4名、男性3名。最年少は24歳、最年長は60歳と幅広い年齢層です。職員は3名。日によっては、ボランティアさんもこられます。活動は、平日朝9時～夕方4時。作業は、主にタオル折りや箸袋入れなどの内職、マンション清掃、刺し子タオルなどの自主製品作りです。出来上がった製品を納品にも行きます。普段の家庭生活でも役立つよう、洗濯・作業後の清掃をメンバーの当番制にしています。他にも、作業所周辺の清掃や、地域の行事に出店など、積極的に地域交流をしています。作業以外では、野外活動もしています。カラオケ、映画鑑賞、誕生会・・・最近では須磨水族園にみんなで行って来ました。



### メンバーの声

作業がひと段落した時間に、みなさんにお話しを伺いました。プロペラでの活動、皆さんはどうですか？「注意されたりすることもあるけど、皆とワイワイ過ごせるから楽しい」「野外活動が楽しみです」「一生懸命、仕事しています」工賃はどう使われていますか？「友達と食事に行ったり、カラオケに行ったり・・・」「貯金してます」「趣味の旅行に使います」と、皆さんちょっとはずかしがりながらも、ニコニコと笑顔で答えてくださいました。

### 自立支援法が施行されて

お話を伺いました。「今後、就労継続B型に移行することになるとは思いますが、まだはっきりしていません。利用・登録人数の要件という壁がありますね。今の人数では要件を満たせません。かといって、要件を満たす人数で、活動するのは難しいことです。他の施設と一緒にいる等の方法を取るにしても、今プロペラにきているメンバーを大事にした形で発展させられたらと考えています。」

### 自主製品の「やさしい靴下」



### 広げよう人の輪を！

「作業所ってどんなところだろう？何をしてるのかな？と思われている方、いつでものぞきにきてください。普段関わりの無い方と接するのは、メンバーにも良い刺激になります。外からの風をできるだけ入れて、もっと輪を広げていきたいといつも思っています」とのことでした。

これからの季節、地域の夏祭りにも出店されます。「ライフスペース・プロペラ」の名前を見つけたら、是非お立ち寄りくださいね！（HP・[http://suma-net.org/3\\_16.html](http://suma-net.org/3_16.html)）

〒654-0023 須磨区戒町2-1-23 TEL/FAX 732-9799

## 7月のまちかど情報

## 第12回 いたやど・まちかど講座

## 『だれもが人として尊厳ある生活を』

～歩んできた25年、そしてこれから～

お 話： 鈴木 和子さん

(若者と家族の会・遷延性意識障害をもつ当事者家族)

と き： 平成19年8月11日(土)

14:00～15:30

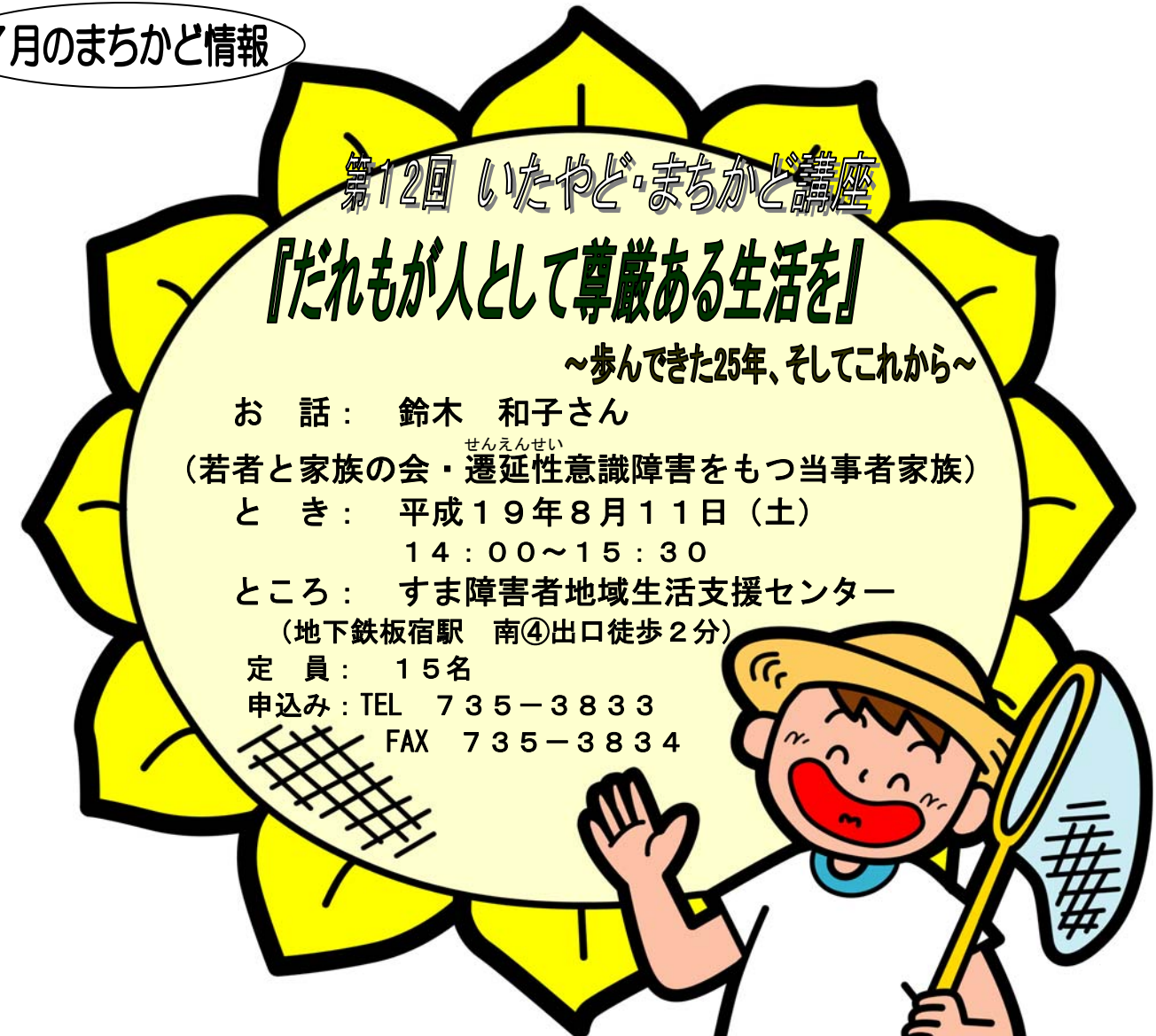
と ころ： すま障害者地域生活支援センター

(地下鉄板宿駅 南④出口徒歩2分)

定 員： 15名

申込み：TEL 735-3833

FAX 735-3834

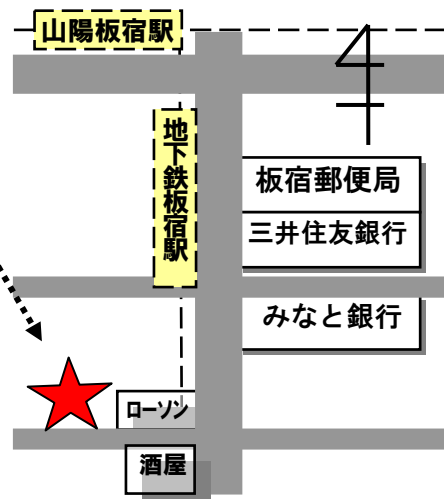


こんなことをしています

## すま支援センターの事業内容

- \* 地域生活に必要な制度やサービスの情報提供や、利用のお手伝い
- \* 障害福祉サービスの相談・受付・調査
- \* ピアカウンセリングの実施
- \* 心の病を持つ方の家族へのカウンセリング
- \* 障害児を持つ親へのためのカウンセリング
- \* 障害者のための法律相談
- \* 地域啓発事業の実施  
(まちかど講座・まちかどギャラリーなど)

他、さまざまな内容の相談・情報提供を行なっています



## 編集後記

暑い夏がやってきました。センターは、暑さに負けず毎日オープンしています。学生さんは、待ちに待った夏休みですね。うらやましい～

☆「障害者のための法律相談」を毎月第2火曜に定期実施しはじめました☆

弁護士さんとセンターが連携して、ご相談に応じます。予約制、先着順です。ご活用くださいね。(T)

